



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中！…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX : 0467-47-1164

木曜を除く 10時～16時 Web URL: <http://www.yamasaki-yato.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

「モニタリングサイト 1000 里地調査」協力に感謝状！

生態系保全班と植物育成班は、日本自然保護協会にお世話になりながら、環境省事業「モニタリングサイト 1000 里地調査」に参加し、7年前から、山崎の谷戸の動植物、チョウ、ホタル、カエル、カヤネズミ、鳥の調査を継続しています、このたび感謝状をいただきました。



4/19 畑班 さといもの植付け



もくじ

☆各班からのお知らせ→2・3p

☆谷戸の自然だより→p4

☆谷戸往来→5p ☆5～7月日程表(裏表紙)

谷戸に一步入ると、ウグイス、コジュケイ、シュレーゲルアオガエルなどの声に迎えらるる季節となりました。赤い新芽や濃淡の青葉の梢は、あっという間に厚い緑の層になっていきます。当会の層もますます厚くなり、赤ちゃんからベテラン熟年まで、賑やかに活動を始めました。いつでも誰でも参加できるのが特徴です。やってみたいと思う方、どなたでも大歓迎です。

各班からのお知らせ



田んぼ班

★5/3(日)、4(月・祝)田うない ★10(日) 畔の草刈り・苗床の草取り
★16(土)、17(日)、24(日) くろつけ ★30(土)、31(日) しろかき



4/19 種籾蒔き

4月までの準備も順調に進み、苗床に4/18、19日に種籾を蒔きました。稲苗が育つ間に、田んぼ内の作業が始まります。稲刈り後の稲株を1つつひっくり返す「田うない」、畔を泥で固めていく「くろつけ」、田んぼを平らにならす「しろかき」、これらの作業を経て、6/6から田植えです。

田植え後は、雑草を取り、田んぼをかき回す「田の草取り」です。



畑班

★5/3(日) ジャガイモの芽欠き・土寄せ ★10(日) 植付け準備・草取り・耕し
★17(日) さつまいもの植付け ★31(日) さといもの草取り・土寄せ

雨や曇りの日が多かったにもかかわらず、畑では去年の秋に蒔いた作物が、暖かい風とともに元気に成長し、さつまいもの苗床にも立派な芽が伸びています。

谷戸の美しい若葉と生きものたちの賑やかな声に囲まれ、さつまいもや夏野菜の苗植えと大麦・小麦やジャガイモの収穫など、畑は人手がほしい大忙しの季節になりました。



4/12 こんにゃく芋の植え付け



雑木林管理班

★5/10(日)薪作り
★17(日)鎌を研いで草刈り

新緑の季節になりました。これから秋を迎えるまでは、樹木の手入れは少しお休みして、草刈りが作業の中心となります。草を刈るのは主に田畑周辺や土手ですが、雑木林内の下草刈りも重要な仕事です。

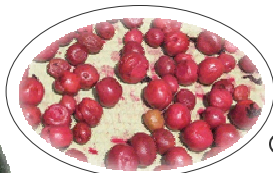


4/19 斧で薪割り



農芸班

★6/12(金)梅干し作り1



段々と暖くなる日差しを浴びながら、谷戸の梅の実も日一日と大きく成長しています。初夏の風を感じはじめる6月に収穫して、今年度の梅仕事が始まります。「添加物のない梅干し作り」は、6、7、8月と3回に渡って行います。

「花も実もある」梅のように班活動を充実させていきたいと思います。



自然遊び班

3/15 (日) 父と子の里山体験

「竹でお椀と箸作り」を行いました。午前中、直径 20 センチほどのミズキをのこぎりで伐りました。何人も交代しながらようやく木が傾いたときには拍手がわきおこり、倒れた後の木から樹液があふれ出て、瑞々しい木の生命力に感動する声も聞かれました。午後からの竹工作は、なたやのこぎりや小刀を使用して、用途に合わせ切り分け、けがをしないよう集中しながら作業しました。「自然の中で子どもと遊ぶ機会が少ないので、参加できてよかった」という感想も聞かれ、里山の暮



らしの一部を体験しながら、親子でのんびりと自然の中で過ごしました。

こども里山一日体験 (新年度)

(2歳～小学生までの親子対象 定員 10組
参加費：500 円 (会員以外の方)

★5/17 (日)「竹馬・竹笛で昔あそび」

遊び名人のおじさんと竹馬や竹笛を作ります

※会報 66 号に掲載・募集した、里山探検隊 (小学生対象 申込み制 定員 20 名) は、定員に達したため、締め切りました。



生態系保全班

★6/3(水) 梅雨時のチョウの調査 ★6(水)、20(土)夜の自然観察

今年もアゾラ (赤浮草類) で田んぼが赤くなってしまいました。4人でバケツ 50 杯以上取り除き、少しは減りましたが、昨年は2週間ぐらいすると、真っ赤な田んぼに戻ってしまいました。取ると元気になり増えてしまうような気がします。どうしたら減らすこと



繁殖力が強い、アゾラクリスタータ



シャチホコガはどこにいるのでしょうか？

ができるのでしょうか。アゾラを取るとき、気を付けていても水中の生きものを一緒に捕ってしまいます。よい方法を模索していきます。

調査中に、樹と同化している蛾を見つけました。擬態の上手さに驚き、会員との会話も弾み、ほかにもいないか目を凝らし探しました。



植物育成班

★5/20(水) 初夏の植物調査

今年も帰化植物のヒメオドリコソウ除去を頑張っています。多い所は、三角鋏 (サンカクホウ) で一気に除去しますが、貴重な野草の中に点々とあるものは、一本ずつ根っこから抜いていきます。根気がある作業ですが、ヒメオドリコソウが増えたため、減少傾向にあるホトケノザが咲いていると、やる気が湧いてきます。

また、荒れた土手に移植したチガヤやアズマネザサも根付いたようです。元の土手に戻るように、いろいろな方法を試していきたいです。



3/18 ヒメオドリコソウの除去作業

谷戸の自然だより

～生態系から見た、里山の手入れ 水路その1～

① 谷戸の水路はなぜ大切か？

斜面に降った雨が谷底に浸み出す(絞り水)ので、谷戸には水路が必ずあります。林、田畑、湿地(休耕田跡地)とともに、水路は谷戸の生態系に欠かせない存在です。街中を流れる川と谷戸の水路はどこが違うのでしょうか？

1. 真夏でも水温が25度以下で、真冬も10度以下に下がらない場所があります。
2. 水量が安定していて洪水にはなりにくいです。
3. ゲンジボタルをはじめ、貝類やトンボ類など、神奈川県では希少になった水生生物が多数生息しています。
4. 谷戸の水路は川の源流であり、谷戸で増えた生物が下流に広がる移動経路として重要です。
5. 鎌倉市内では、ゲンジボタルが谷戸の下流の住宅地の川で増えている地域もあります。
6. 鎌倉の川は、中流から河口にかけては、コイの放流のために生物が少ない状況です。また、コンクリートの護岸で囲まれており、子どもたちが川に入って遊べる場所がありません。谷戸の水路は水辺の環境として大切です。

② 谷戸の水路の現状

水量と流速(目視で流れが確認できるかどうか)、川底の状態(泥、砂、岩盤)、川岸の環境(草の茂り方)などの違いが、水路の生物に影響を与えています。山崎の谷戸の事例を挙げてみます。

しいし周辺の水路：川底が砂や小石なので、マシジミが生息できる貴重な場所です。深さがあるので、子どもの川遊びや足洗い場としても適しています。

農家風休憩舎～しいしの水路：下流側は護岸工事がされましたが、ゲンジボタルが復活しました。上流側には淵のような場所があり、ホトケドジョウの稚魚が多く見つかります。かつてはここでツチガエルが産卵していました。川底に岩盤が露出している区間もあります。

野外生活体験広場北側の水路：田んぼの下流にある水路です。田んぼから流れてきた生物、特にオタマジャクシが見つかるので、子どもたちの自然体験の場になっています。

野外生活体験広場南側の水路：小段谷戸の下流部の水路です。夏～秋は草むらに囲まれているので、あまり人が入らず保護されています。ホトケドジョウやトンボの幼虫など貴重な生物が多いです。

小段谷戸の水路：ほとんど人が入らないため、保護区のような状態になっています。ゲンジボタルが多く見られる水路です。

梅林～田んぼの水路：水量が少なく湿地の草が茂っているので、水路か湿地か分からないので、人は近づきません。ホトケドジョウなど貴重な生物が多く、最近はゲンジボタルやヘイケボタルが増えてきました。

次回は、水路の保全について考えてみます。



ホタルの紙芝居を読んでもらう ボランティアの方募集！



谷戸はみなさんの日頃の里山保全活動のおかげで、田や湿地が守られ、ホタルが生息しています。毎年6～7月中旬まで、ホタルを觀賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、青空自主保育グループ、町内会、小学校のご協力によって、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、ホタルの紙芝居ボランティアに参加してみませんか。山崎の谷戸のホタルたちのために、ご協力よろしくお願いします。

日程：6/6、20、7/4、18

時間：18:30～20:30(閉園時間帯に

つき駐車場は利用できません)

集合場所：山崎口しいし前のベンチ

服装：長袖・長ズボン

お申し込み＆お問い合わせは
事務局まで
電話 or Fax or メールにて



谷戸経典 谷戸経典 谷戸経典

横須賀市職員、市民団体視察研修

3/14(土)、横須賀市職員、里山林手入れ講習会OB会、田んぼつくり講習OB会会員など20名が視察に訪れました。谷戸散策の後、作業も体験。活動の運営から作業のやり方まで、多様な質問がありました。横須賀市では初となる市民と協働の里山保全事業の成功を期

待します。私たちの活動がその先駆的例とされたのは誇らしく気持ちも引き締まる思いでした。



帰化植物の除去作業

深沢中・玉縄中3年生による 谷戸保全活動 3/3(火)、6(金)

鎌倉風致保存会主催、市立中学3年生による里山保全作業が山崎の谷戸で実施され、当会は深沢中と玉縄中、総勢 340 名あまりの指導に協力しました。生徒たちは、のこぎりや刈込みバサミでの作業に熱

心に取り組んでくれました。



玉縄中学校の生徒

かまくらレンジャーズ受け入れ

近郊のボランティア活動に興味のある若者たちが、今年も毎月活躍してくれます。6月からは親子レンジャーズもやって来ます。＜感想＞★日本史で農具の発達について学びましたが、初めて実際の鋤に触れ、その重さや重労働さを体感できました。(T. Y)★鎌倉の真ん中にこんなに

綺麗な風景の場所があることを知れてよかったです。(S. M)



かまくら認知症ネットワーク来訪

3/22(日)、初春の谷戸を楽しむ「かまくら散歩」が、総勢 37 名の参加で行われました。堆肥の切り返し、よもぎだんご作りなど、認知症の方も、

ボランティアの鎌倉学園の生徒さんたちと楽しめました。



手馴れた手つきでよもぎを切る

オリエンテーション開催

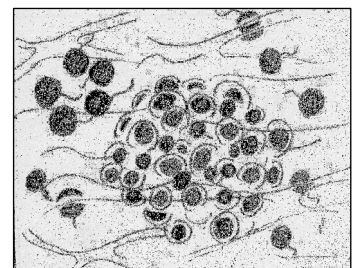
4/12(日)、30 数名が参加する中、当会の活動を紹介した後、谷戸を歩いて活動の様子を具体的に説明しました。翌週、早速活動に参加される方もいて、今後が楽しみです。

～鎌倉市教育支援教室「ひだまり」～「昔ながらの畑」

1/28 麦踏み ★堆肥の所に行って中に入ったら、枯葉がすごくフワフワして、気持ちよかったです。(E. Y)

2/24 小麦畑の草取り ★草むしりが大好き(笑)なので、たのしかったです。かえるのたまごをさわった時、何も感じなかったことがびっくりしました！

がけのぼりをしたり、山の中をたんけん？したりとても楽しかったです。(K. O) ★ざっそうと麦をかきわけるのがとてもむずかしいということがわかりました。(N. N) ★作業中に春のにおいを感じました。(N. M)



(H. Y)